

山脇議員の放課後児童クラブで質問

お家笑里クラブの自主運営問題と今後の対応

米原市民報

日本共産党米原市議員
山脇正孝 Tel.52-1093
日本共産党湖北地区議員団
事務局藤田正雄 Tel.55-1128

<http://www.jcp-maibarashigidan.com/>

廃止の経過と反省

Q. 保護者説明会でお家笑里クラブ廃止に関してかなり厳しい意見が保護者から多数出された。お家笑里クラブ廃止に至った経過と反省点は。

A. 懇切丁寧にもっと接して、辞退を取り下げてもらえないだろうかともっと強く主張すべきという反省点もあると思います。

Q. どこですれちがってしまったのかということをお家笑里クラブの受託者へ運営していただけないかと思えます。一つの大きな視点としては、子どもや保護者のことが念頭に置かれていなかったのではないかと、事務的な対応になってしまったのではないかと。

A. 今回の反省点で、今一度、運営者としていねいな協議ができなかった、また、保護者や児童への説明も不十分であったという点で、反省点があると認識しております。

新たな児童クラブの設置の経過

Q. 何とか今からでも、話し合いで解決できませんか。お家笑里クラブに翻意してもらえないか。

A. 11月初旬に、受託の継続をお願いしておりました。その際、下校時の児童の利用率について、交通量の問題や利用児童数が増えることに伴う支援員の負担などの相

2月28日の山脇議員の一般質問の続編です。近江地区の放課後児童クラブをめぐる問題を取り上げました。この問題は一般新聞にも取り上げられました。今後行政では公と民との共同事業が多くあります。行政の丁寧な取組が求められます。

談を受けました。12月中旬に、再度クラブの運営に係る協議を行った際に、バス送迎の提案がありました。市内の平等性やバランスを考慮したうえで、バス送迎が難しいことをお伝えしたところ、支援員の負担や今後の危険性を想定され、翌日に平成30年度の運営を辞退する申出がありました。このことから、坂田小学校の中で放課後児童クラブを開設することについて調整させていただき、12月下旬にお家笑里クラブの受託者へ運営していただけないか協議を行いました。了解はいただけませんでした。市としては待機児童を出さないこと、また、児童が安全に児童クラブを利用できることを第一に考え、坂田小学校の中今で放課後児童クラブを開設することとしました。

市長の考えは

Q. 市長も、様々な答弁の中で保護者や子どもへの思いを受け止められなかった、くみ取れなかったと言われた。このことは重く受け止めてほしいと思います。は、負担が重くならないか心配されています。また、子どもたちの環境が変わるので不安を取り除くために、今後しっかりと対応をとっていただきたいと思います。

お家笑里クラブの今後

Q. 今度、お家笑里クラブは補助なしで運営されると言っておられます。また、隣接の坂田児童クラブも委託される。2つのクラブとも同じ米原の子どもたち、保護者が通います。是非ともお家笑里クラブとしっかりコミュニケーションをとり、今後どうしていくか、最善の方法がとれないか。

A. コミュニケーションの回復は我々の課題だと肝に銘じています。また、公設と民設に一時的、あるいはこれから先こういうものが

雑感

引き続き森友問題の公文書の書き換えが大きな問題となっています。政府は佐川前理財局長にすべてをかぶせて逃げようとしています。しかしこのような危ない橋を官僚が渡しても何の得にもなりません。「私や妻が関わっていたら首相だけでなく議員もやめる」と大見えを切った安倍首相以外原因は考えられません。それにしても首相妻や政治家の介入を詳しく書く公文書を見たことがない。本当にいやな仕事だったに違いない。

